

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0330

(注)本稿は 2014 年 11 月 10 日から 30 日まで、「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2014.12.3
前田 高行

トップでも世界113位のアラブ諸国(日本だって104位!):2014年版世界男女格差報告

(MENA なんでもランキング・シリーズ その8)

目次	頁
1. 「世界男女格差報告2014」について	2
2. MENA の平均世界順位は124位、日本も142カ国中104位	3
3. 分野別順位	
(1) 経済分野の男女格差	3
(2) 教育分野の男女格差	4
(3) 健康・寿命分野の男女格差	4
(4) 政治分野の男女格差	5
4. 2010～2014年の総合ランクの推移	
(1) MENA では5年連続でイスラエルがトップ、イエメンが最下位	5
(2) MENA の世界順位は毎年徐々に悪化	6
5. 中東5カ国と日米中の要素別比較(レーダーチャート)	6
(1) チャート1(トルコ、エジプト、イラン)	7
(2) チャート2(サウジアラビア、UAE 及び MENA 平均)	7
(3) チャート3(日本、米国、中国)	7

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら19カ国・1機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

ここでは世界経済フォーラム(World Economic Forum, WEF)が行った「世界男女格差報告2014(The Global Gender Gap Report 2014)」から MENA 諸国をとりあげて比較しました。

1. 「世界男女格差報告2014」について

「世界男女格差報告2014(The Global Gender Gap Report 2014)」(以下「2014年版報告書」)を公表した「世界経済フォーラム」(World Economic Forum, WEF)は、スイスのジュネーブに本部を置く非営利団体であり、毎冬スイスのダボスで行われる「ダボス会議」の主催者としてよく知られている。

「2014年版報告書」は世界142カ国を対象に経済、教育、健康、政治の4つの分野について、世界或いは各国の公的機関が公表する男女別のデータに基づき、それぞれの分野の男女間の格差を指数化し順位付けを行ったものである。

* WEF ホームページ: <http://www.weforum.org/videos/global-gender-gap-report-2014>

(1) 比較対象される分野とその内容

対象とされるのは以下の4つの分野であり、各分野にはそれぞれ二つ乃至五つの比較項目がある。

I 経済参画分野: 経済活動への参加度及び参画の機会(Opportunity)に関する男女格差

比較項目: (1) 労働参加比率、(2) 同一労働賃金格差、(3) 平均所得格差、
(4) 幹部職比率、(5) 専門・技術職比率

II 教育分野: 教育の機会に関する男女格差

比較項目: (1) 識字率、(2) 初等教育就学率、(3) 中等教育就学率、(4) 高等教育就学率

III 健康・寿命分野: 健康と寿命に関する男女格差

比較項目: (1) 新生児男女比率、(2) 平均寿命

IV 政治参画分野: 政治参画の度合に関する男女格差

比較項目: (1) 女性議員比率、(2) 女性閣僚比率、
(3) 過去50年間の女性元首(首相等)在任期間

(2) 指数化の方法と順位付け

142カ国について上記四つの分野の各比較項目に関する男女それぞれの数値或いは比率のデータを抽出し、この男女のデータについて男性を1とした場合の女性の指数を算定する(最大値は1とする)。この指数の意味は、指数1の場合男女が完全に平等であることを意味しており、指数が低くなればなるほど男女の格差が大きいことを示している。

各比較項目の指数を加重平均したものを、その分野の指数とする。最後に4つの分野の指数を加重平均したものがその国の格差指数であり、142カ国の指数を上位から順に総合順位を付けるのである。

2. MENA の平均世界順位は124位、日本も142カ国中104位(末尾表 8-T01 参照)

「2014年版報告書」は、上記の方法(前項1参照)により142カ国のそれぞれの総合指数を算出し順位付けを行ったものである。このうち MENA は17カ国が順位付けの対象となっている。今回調査対象とならなかったのはイラク、リビア、パレスチナ自治政府の2ヶ国1機関である。

MENA 諸国の世界ランクの特徴はイスラエルを除く16カ国が全て100位以下と言う極めて低いレベルにあることである。MENA トップのイスラエルは世界ランク65位である。イスラエル以外の MENA 各国の世界ランクは低く殆ど差が無い。イスラエルに続くのはクウェイト(世界ランク113位)であり、このほか UAE(115位)及びカタール(116位)が110位台に入っている。

チュニジア(123位)、バハレーン(124位)、トルコ(125位)、アルジェリア(126位)、オマーン(128位)、エジプト(129位)の6カ国が120位台にひしめいている。そして世界でも最低ランクである130位以降はサウジアラビア(130位)、モロッコ(133位)、ヨルダン(134位)、レバノン(135位)、イラン(137位)、シリア(139位)及びイエメン(142位)の各国であり、特にイエメンは世界最下位である。MENA の世界平均順位は124位であり、イスラエルを除く MENA 諸国は男女格差が大きく、男女平等が遅れた地域と言えよう。

ちなみに世界1位はアイスランドであり、2位以下にはフィンランド、ノルウェー、スウェーデンの北欧3カ国が並んでいる。ベスト・テンではアジアでただ1カ国フィリピンが9位にランク付けされている。これに対して日本は104位である。日本は米国(20位)に大きく後れをとっており、中国(87位)よりもさらに低く、韓国(117位)をわずかに上回る低いランクである。日本は男女格差が非常に大きな国であると評価されていることがわかる。

3. 分野別順位(末尾表 8-T03 参照)

経済、教育、健康・寿命及び政治の四分野ごとに見た MENA 17カ国の順位は以下のとおりである。

(1) 経済分野の男女格差

経済分野の男女格差が MENA で最も小さいのはイスラエルで、同国の世界順位は90位である。第2位以下は全て世界100位以下であり、カタール(世界順位101位)、クウェイト(同106位)、

UAE(同123位)、バハレーン(同126位)、オマーン(128位)と GCC 諸国が続いている。総合順位130位のサウジアラビアはこの分野では137位である。経済分野の MENA の平均世界順位は127位となっており、総合の平均順位124位より少し劣っている。MENA では経済分野における男女格差が大きいと言えよう。

因みにこの分野における日本の世界順位は102位であるが、詳しい内容を見ると女性管理職のランクは世界112位であり、専門技術職の世界ランク78位に比べ女性の昇進の壁が厚いようである。また賃金の男女格差は世界平均を上回る53位である。

(2) 教育分野の男女格差

教育分野もイスラエル(世界49位)が MENA のトップである。MENA でこれについて世界順位が高いのはヨルダン(世界74位)及びクウェイト(同76位)であるがそれでも世界の上位グループには入っていない。これに続くのは UAE(同83位)、サウジアラビア(同86位)、バハレーン(同90位)、カタール(同94位)、オマーン(同96位)が世界100位以内に入っている。世界順位100位以下ではシリア(101位)、イラン(104位)、トルコ(105位)、レバノン(106位)、チュニジア(107位)及びエジプト(109位)が100位から110位までにひしめき合っている。

この分野の MENA の平均世界順位は97位である。実は世界的に見てこの教育分野の男女格差は小さく、スコアが1.000の国(即ち男女格差が全くないか、または女性の方が教育度の高い国)が20カ国以上あり、イスラエル(世界49位)のスコアは0.9964、エジプト(同109位)のそれは0.9467である。

日本は文盲率、初等・中等教育は男女に差が無いが、高等教育にわずかな男女格差がありポイントが0.9781である。この結果日本の世界順位は93位とされ、この分野ではごくわずかなスコアの差で順位が大きく上下することがわかる。

(3) 健康・寿命分野の男女格差

MENA 諸国のこの分野における特徴は男女格差が比較的少ないことである。特に国別で見た場合トルコは世界1位であり、指数0.9796は男女間の格差が小さいことを示している。この分野は世界的に見ても男女の格差が少なくフランス、デンマーク、フィリピン、ナミビアなど約20カ国がトルコと同じ指数の世界1位で並んでいる。但し指数はあくまで同一国における男女の格差を示すものであって、先進国フランスと開発途上国ナミビアの健康・寿命のレベルが同じことを意味していないことに注意すべきであろう。

この分野は UAE(世界132位、指数0.9612)、クウェイト(同134位、0.9567)、カタール(同136位、指数0.9522)に対して、イエメンが117位(指数0.9668)であることに見られるように、医療福祉制度の充実した湾岸産油国が総合評価で世界最下位のイエメンよりも男女格差が大きいという意外な結果を示している。これはおそらく湾岸産油国では制度が男女の格差をはらんだまま発達しているのに対し、イエメンでは制度が未発達のため男女の格差がかえって小さいという逆説

的な状況を示しているのかもしれない。

日本は指数が0.9791で世界ランクは37位である。平均寿命は女性が男性を上回るため指数は1.00となるが、新生児の男女比率は男性が女性を上回っているため指数は0.94となっている。この分野では二つの項目(新生児の男女比率及び男女の平均寿命)によって指数が算出されているが、142カ国全ての指数が0.93を上回っており、経済(上記1)、教育(上記2)及び政治(下記4)など他の分野に比べて殆ど格差が無いのが特徴である。

(4)政治分野の男女格差

この分野は世界各国の政治体制の違いに左右される面が大きい。またこの分野はトップのアイスランドの指標が0.6554、米国が0.1847であるなど上記の健康・寿命指標に比べて世界的に指標値が低く、また各国間の格差が大きい。MENA 各国の指標もトップのイスラエルですら0.1965にとどまり、指標0.1以下の国が多数ある。因みに日本は0.0583(世界129位)、中国は0.1506(同72位)である。

MENA 諸国間の比較で男女格差が少ないと評価されているのは、上記のイスラエル(世界49位)のほかアルジェリア(同60位)、チュニジア(同82位)、UAE(同96位)などであり、反対に格差が最も大きいのはレバノンで同国の世界順位は142カ国中の141位である。カタールも世界140位でMENAでは2番目に低く世界の最低レベルである。GCC6カ国の中で比較的高い評価を受けているのはUAEのみであり、他は男女格差が大きい。

政治の男女格差は女性の国会議員、閣僚及び過去50年間の女性元首(首相等)の在任期間でランク付けされているため全体的に各国ともスコアが低く、また同じ先進国でもヨーロッパに比べ日米のランクが低い結果となっている。

4. 2010～2014年の総合ランクの推移

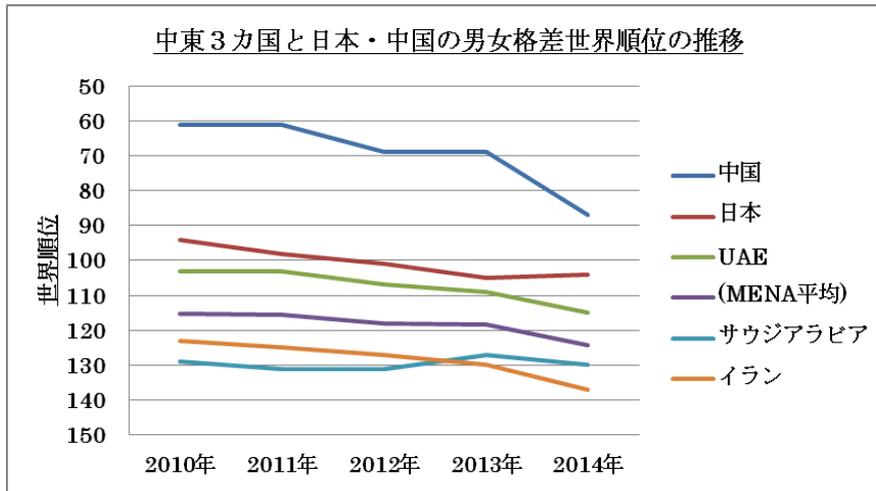
2010年から2014年までの5カ年間の MENA 各国の順位の推移を追うと概略以下の通りである。

(1) MENA では5年連続でイスラエルがトップ、イエメンが最下位(末尾表 8-T02 参照)

5カ年を通じてイスラエルは常に MENA1位であり、しかも世界60位前後と2位以下が全て100位以下であるのに比べ大きな開きがある。MENA2位は2010年以降2013年までは UAE であったが、今回はクウェイトに代わった。カタールは7位(10年)→6位(11年)→5位(12年)→4位(13年及び14年)と MENA における地位を毎年上げている。

これに対してシリアは5年間の世界順位が124位(10年及び11年)→132位(12年)→133位(13年)→139位(14年)と毎年下がり続け、世界最下位のイエメン(142位)との差が殆ど無くなっている。またイランも2010年以降は毎年世界順位が下がっており、2010年の123位が2014年には137位になっている。

(2) MENA の世界順位は毎年徐々に悪化



UAE、サウジアラビア、イランの3カ国と MENA 平均に日本及び中国2カ国を加えて過去5年間の男女格差世界順位の推移を比べると中国の順位の下落が顕著である。中国は2011年には世界61位であったがその後69位(12年、13年)→87位(14年)と毎年下

がり続けている。

MENA の世界平均順位も115位(10年)→116位(11年)→118位(12年及び13年)→124位(14年)と毎年低下している。これを指数の平均値で見ると0.6012(10年)→0.6035(11年)→0.6041(12年)→0.6953(13年)→0.6119(14年)と昨年までは毎年上がっていた。それにもかかわらず MENA 諸国の平均順位が上がらないのは、改善のペースが世界の平均以下にとどまっていることを示している。

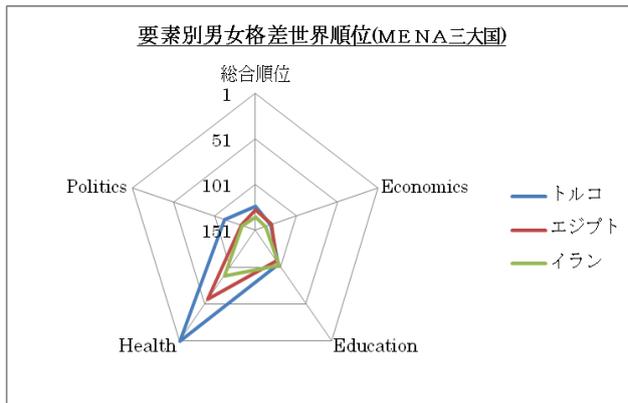
サウジアラビア、イランおよび UAE3カ国の過去5年間の世界順位はサウジアラビアが129位(10年)→131位(11年)→131位(12年)→127位(13年)→130位(14年)、イランは123位(10年)→125位(11年)→127位(12年)→130位(13年)→137位(14年)、そして UAE は103位(10年)→103位(11年)→107位(12年)→109位(13年)→115位(14年)である。サウジアラビアは世界順位に大きな変化はないが、イランも UAE も共に2010年以降は長期低落傾向にある。

日本は2010年に94位であったが2011年には98位に下落2012年以降は100位以下に低迷している。2014年にはわずかながら順位を上げたが世界100位以下である。中国も過去5年間で順位を下げており61位(10年)→61位(11年)→69位(12年)→69位(13年)→87位(14年)であり今回は急落したが依然として日本より上位である。

5. 中東5カ国と日米中の要素別比較(レーダーチャート)

MENA の三大国(トルコ、エジプト、イラン)、GCC2カ国(サウジアラビア、UAE)及び MENA 平均並びに日本、米国、中国3カ国を取り上げ、総合順位と4つの分野別順位(経済、教育、健康及び政治)をレーダーチャートで表してみる。レーダーチャートは最も外側が世界1位(つまり男女格差が世界で最も小さい)であり、以下中心に向かうほど順位が低くなる(即ち男女格差が大きい)。グラフの実線が外側に広がるほど男女格差が少ないことを示し、また真円に近いほど男女格差のバランスが取れていることを示している。

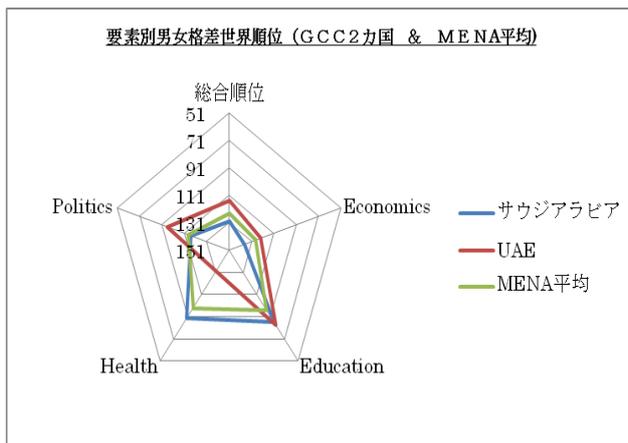
(1) チャート1(トルコ、エジプト、イラン)



トルコ、エジプト、イランは総合順位が世界125位、129位、137位といずれも低ランクにとどまっている。4つの分野の中では3カ国とも経済分野の男女格差が130位台で最も悪く、また政治ランクもエジプト、イランが悪い(トルコは113位)。教育分野は3カ国ともほぼ同じ順位であり、イラン104位、トルコは105位、エジプト109位である。健康は男女格差が比較的少ない分野であり、トルコは世界1

位である(但し上記3に述べたとおりトルコのほかに20カ国が同一指数の世界1位である)。エジプトは57位、イランは89位。

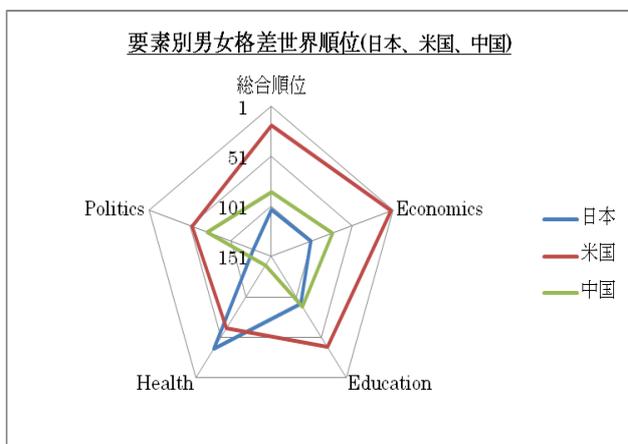
(2) チャート2(サウジアラビア、UAE 及び MENA 平均)



総合順位は UAE115位、MENA 平均124位、サウジアラビア130位である。経済分野の男女格差は UAE と MENA 平均はほぼ同じで120位台であるがサウジアラビアは世界142カ国中では最低レベルの137位にとどまっている。政治分野も UAE の世界96位に対しサウジアラビアは117位である。この分野の MENA 平均は世界114位である。教育分野はいずれも総合順位よりも高く、UAE は83位、サウジアラビア86位でありいずれも世界

100位以内に入っている。健康分野ではサウジアラビアが世界90位、MENA 平均も99位であるが、UAE は132位とランクが低く、男女間の格差が大きいことを示している。

(3) チャート3(日本、米国、中国)



総合順位では米国が20位であるのに対して、中国及び日本はそれぞれ87位、104位にとどまっており特に日本のランクの低さが目立つ。米国は経済の男女格差は世界4位であり、その他の分野は教育格差が世界39位、政治格差は世界54位、健康格差は世界62位である。中国は経済、教育、政治のいずれの分野でも日本を上回っているが、健康分野だけは男女格差が世界最低レベルの140位である。総合順位104位の日本は健康分野

が世界37位で米国及び中国を上回っているが、その他の3分野（経済、教育及び政治）の男女格差は米国及び中国よりも遅れており、特に政治分野の男女格差が大きい。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

男女格差指数2014 (The Global Gender Gap Index) (対象国数:142カ国)

Country	国名	総合順位・指数		
		世界順位	MENA 順位	Index
Algeria	アルジェリア	126	8	0.6182
Bahrain	バハレーン	124	6	0.6261
Egypt	エジプト	129	10	0.6064
Iran	イラン	137	15	0.5811
Iraq	イラク	-	-	-
Israel	イスラエル	65	1	0.7005
Jordan	ヨルダン	134	13	0.5968
Kuwait	クウェイト	113	2	0.6457
Lebanon	レバノン	135	14	0.5923
Libya	リビア	-	-	-
Morocco	モロッコ	133	12	0.5988
Oman	オマーン	128	9	0.6091
Palestine Autonomy	パレスチナ自治政府	-	-	-
Qatar	カタール	116	4	0.6403
Saudi Arabia	サウジアラビア	130	11	0.6059
Syria	シリア	139	16	0.5775
Tunisia	チュニジア	123	5	0.6272
Turkey	トルコ	125	7	0.6183
UAE	UAE	115	3	0.6436
Yemen	イエメン	142	17	0.5145
	(MENA 平均)	124	-	0.6119
	世界 1 位	アイスランド	-	0.8594
	最下位	イエメン	-	0.5145
Japan	日本	104	-	0.6584
USA	米国	20	-	0.7463
China	中国	87	-	0.6830

Source:World Economic Forum (WEF)

<http://reports.weforum.org/global-gender-gap-report-2014/>

男女格差指数2012 (The Global Gender Gap Index) 要素別

国名	総合順位	Economic Participation and Opportunity	Education Attainment	Health and Survival	Political Empowerment
アルジェリア	120	131	103	108	57
バハレーン	111	118	47	111	112
エジプト	126	124	110	54	125
イラン	127	130	101	87	126
イラク	-	-	-	-	-
イスラエル	56	53	80	94	54
ヨルダン	121	126	82	90	118
クウェイト	109	106	60	111	130
レバノン	122	125	86	1	131
リビア	-	-	-	-	-
モロッコ	129	128	115	88	108
オマーン	125	127	96	62	129
パレスチナ自治政府	-	-	-	-	-
カタール	115	107	36	127	133
サウジアラビア	131	133	91	55	133
シリア	132	135	107	61	111
チュニジア	-	-	-	-	-
トルコ	124	129	108	62	98
UAE	107	122	1	111	81
イエメン	135	132	133	82	128
(MENA 平均)	118	120	85	82	111
世界 1 位	アイスランド	27	1	98	1
日本	101	102	81	34	110
米国	22	8	1	33	55
中国	69	58	85	132	58

Source: World Economic Forum (WEF)

<http://www.weforum.org/videos/global-gender-gap-report-2012>

男女格差指数(The Global Gender Gap Index)2010～2014年

国名 (対象国数)	世界順位				
	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
	134カ国	135カ国	135カ国	136カ国	142カ国
アルジェリア	119	121	120	124	126
バハレーン	110	110	111	112	124
エジプト	125	123	126	125	129
イラン	123	125	127	130	137
イラク	-	-	-	-	-
イスラエル	52	55	56	53	65
ヨルダン	120	117	121	119	134
クウェイト	105	105	109	116	113
レバノン	116	118	122	123	135
リビア	-	-	-	-	-
モロッコ	127	129	129	129	133
オマーン	122	127	125	122	128
パレスチナ自治政府	-	-	-	-	-
カタール	117	111	115	115	116
サウジアラビア	129	131	131	127	130
シリア	124	124	132	133	139
チュニジア	107	108	-	-	123
トルコ	126	122	124	120	125
UAE	103	103	107	109	115
イエメン	134	135	135	136	142
(MENA 平均)	115	116	118	118	124
世界1位	アイスランド	アイスランド	アイスランド	アイスランド	アイスランド
最下位	イエメン	イエメン	イエメン	イエメン	イエメン
日本	94	98	101	105	104
米国	19	17	22	23	20
中国	61	61	69	69	87

Source:World Economic Forum (WEF)